

(令和4～6年度) 地域再生計画認定事業の進捗状況

資料 2

令和6年度までに、内閣府より地域再生計画(※)の認定を受けた事業について、実施した事業内容や計画内で設定しているKPIの実績等に基づき効果検証を行うものです。
今回は令和4年度から6年度の効果検証とします。

※地域経済の活性化、地域における雇用機会の創出、その他地域の活力の再生を総合的かつ効果的に推進するため、地方公共団体が単独もしくは連携して実施する自主的かつ自立的な取り組みに対し、作成する計画。地方創生関連交付金を活用する場合は、再生計画の認定を受けていることが必須となる。

達成	目標値をすでに達成している。
順調	各年度の目標値(累計)達成度が80%以上
概ね順調	各年度の目標値(累計)達成度が60%以上80%未満
遅れ	各年度の目標値(累計)達成度が60%未満
未達成	最終年度の目標値が未達成
不明	計測不可

事業名・計画概要・期間・活用交付金	KPI(重要業績評価指標)	単位		令和2年度 増加分	令和3年度 増加分	令和4年度 増加分	令和5年度 増加分	令和6年度 増加分	進捗
【事業名】 道の駅「たからだの里さいた」を拠点とした地域の元気づくり事業 【計画概要】 財田町にある「たからだの里」物産館において、売上拡大や新規顧客獲得に向け、改修を行う。 店舗と併設する事務所を別棟に移転させ、売り場スペースを拡張するとともに、店舗レイアウトや商品配置の変更を行い、顧客の回遊性・商品の視認性を向上させることで、スムーズな人の流れを作り、更なる利用客を受け入れる。 新たに設置したパン工房では、購買頻度が高いパンを焼き立てで販売することで、道の駅全体の利用頻度を高める。 【計画期間】 R2.3.30～R7.3.31 【活用した交付金】 地方創生拠点整備交付金	売上高(道の駅全体)	千円	目標値		15,132 (累計: 15,132)	7,567 (累計: 22,699)	7,567 (累計: 30,266)	7,567 (累計: 37,833)	達成
			実績		-1,469	27,785 (累計: 26,316)	22,333 (累計: 48,648)	-5,394 (累計: 43,254)	
	物産館利用者数(レジ通過者数)	千人	目標値		4 (累計: 4)	2 (累計: 6)	2 (累計: 8)	2 (累計: 10)	達成
			実績		36	-4 (累計: 32)	7 (累計: 39)	-8 (累計: 31)	
	観光入込客数	千人	目標値	8 (累計: 8)	12 (累計: 20)	12 (累計: 32)	12 (累計: 44)	12 (累計: 56)	未達成
			実績	-463	-9 (累計: -472)	311 (累計: -161)	93 (累計: 68)	-13 (累計: 55)	
	環の湯利用者	千人	目標値		3.75 (累計: 3.75)	0.25 (累計: 4)	0.25 (累計: 4.25)	0.25 (累計: 4.5)	未達成
			実績		-35	14 (累計: -22)	24 (累計: 2)	-7 (累計: -5)	

・令和3年度のパーカーコーナーのオープンで集客効果が生まれ、道の駅全体の売上高、物産館利用者数はイベント等の開催により数値目標を達成した。今後も、引き続き新商品の開発や季節のイベント実施により更なる利用者の増加を図る。
・環の湯利用者はコロナ禍の時期から回復しているが未達成となった。情報発信と適切な管理を行い、安心して利用できる施設運営を行う。
・喫緊の課題は事業者と地元生産者をつなげることであり、それにより品揃えが多くなり結果的に施設をより魅力的にする効果が生まれる。生産者が出品したいと思う売り場づくりや、販売手数料の軽減などを検討し、品揃えを確保する必要がある。三豊市内において農産物のブランド「みとよのみ」を立ち上げていることから、連携を図っていく。

事業名・計画概要・期間・活用交付金	KPI(重要業績評価指標)	単位		令和3年度 増加分	令和4年度 増加分	令和5年度 増加分	令和6年度 増加分	令和7年度 増加分	進捗
【事業名】 人と豊かさがめぐるOne MITOYO ～デジタルから始まる持続可能なまちづくり～ 【計画概要】 令和3年度は、後年度に控える地域ポイント事業の本格稼働に向け、アプリケーションを導入し、アプリを活用したプレミアム付デジタル商品券の発行による実証と、地域内におけるキャッシュレスの促進を図る。 令和4年度以降は、地域限定ポイントの導入による消費促進のほか、リピーターの獲得や相互送客効果の向上などをめざす。更に、マイキープラットフォームとの連携による給付の受け皿としての機能を加え、給付ポイントも地域限定で流通・循環することを可能にし、流通量増による更なる域内消費の拡大につなげる。 【計画期間】 R3.4.12～R6.3.31 【活用した交付金】 地方創生推進交付金	アプリにおける地域消費額	千円	目標値	110,000 (累計: 110,000)	284,000 (累計: 394,000)	50,000 (累計: 444,000)			達成
			実績	115,994	299,569 (累計: 415,563)	189,011 (累計: 604,574)			
	市外アプリ登録者数	人	目標値	1,000 (累計: 1,000)	300 (累計: 1,300)	100 (累計: 1,400)			未達成
			実績	515	-27 (累計: 488)	67 (累計: 555)			
	参画店舗数	店舗	目標値	150 (累計: 150)	50 (累計: 200)	50 (累計: 250)			達成
			実績	290	22 (累計: 312)	35 (累計: 347)			
	延べ決済件数	千人	目標値	35,000 (累計: 35,000)	24,000 (累計: 59,000)	10,000 (累計: 70,000)			達成
			実績	44,000	136,000 (累計: 180,000)	62,800 (累計: 242,800)			

・日常使いができるデジタル地域通貨を導入することによって、住民のデジタルリテラシーの向上に寄与できた。キャンペーン時には問合せ窓口の設置やデジタルに不慣れな方向けの申込支援窓口の設置などサポート体制の強化を行った。キャッシュレス決済を促進している市民へのさらなる情報発信やアプリのバージョンアップ等による利便性の向上を目指すとともに、今後、市商工会との連携強化や地元金融機関等との新たな連携を検討する。
・交付金事業を進める中で課題、及びそれに対する取組の修正・改善…決済手数料による収入を得ることで自走につなげる目標だが、まだ自走できる金額と乖離があり、利用機会の創出や新規ユーザーの獲得を地道に行う必要がある。事業の実施体制についても、手探りで検討を進めているため、より良い運用方法についてさらにブラッシュアップさせる必要がある。

事業名・計画概要・期間・活用交付金	KPI(重要業績評価指標)	単位		令和4年度 増加分	令和5年度 増加分	令和6年度 増加分	令和7年度 増加分	令和8年度 増加分	進捗
【事業名】 宝山湖ホールパーク夢いっぱいプロジェクト 【計画概要】 宝山湖ホールパーク構想に基づき、老若男女が本格的かつ楽しみながらスポーツに熟中することができ、官民協働のもとスポーツを介した多角的な地方創生事業を実施することで、市民の健康増進や子どもたちの学びと経験に寄与し、地域外から本市来訪の起点にもなりうる付加価値の高い施設整備を行う。 整備後は、企業との連携により健康や教育、ツーリズムといった多岐にわたる地方創生の取組を実施する。 【計画期間】 R4.3.25～R9.3.31 【活用した交付金】 地方創生拠点整備交付金 地方創生推進交付金	宝山湖公園利用者数	人	目標値	0 (累計: 0)	5,000 (累計: 5,000)	10,000 (累計: 15,000)	5,000 (累計: 20,000)	5,000 (累計: 25,000)	達成
			実績	0	719 (累計: 719)	26,573 (累計: 27,292)			
	民間企業による地方創生事業の開催件数	件	目標値	0 (累計: 0)	200 (累計: 200)	380 (累計: 580)	40 (累計: 620)	30 (累計: 650)	遅れ
			実績	0	66 (累計: 66)	168 (累計: 234)			
	スポーツ合宿による施設利用件数	件	目標値	0 (累計: 0)	2 (累計: 2)	6 (累計: 8)	6 (累計: 14)	6 (累計: 20)	概ね順調
			実績	0	3 (累計: 3)	2 (累計: 5)			

・J1昇格をめざす地域フットサルクラブのカマタマール讃岐(現状:J3)と「三豊宝山湖公園におけるスポーツを核とする地域活性化に関する協定」の締結による強力なタッグを組み、クラブの知名度を生かした集客促進や、豊富な学びの場を子どもたちに提供するなど、ともに本市の地域活性化を図る。
・事業を自走していくために、ネーミングライツの活用などを検討し、資金調達につなげる取組を実施した。今後は広告の掲出に取り組み、更なる資金調達につなげていく。
・週末の大会等開催件数が増加し、目標を大きく上回る利用者となったが、平日の開催件数が少ないことが課題であり、高齢者向けや乳幼児向けの事業を展開していく必要がある。「スポーツ合宿による施設利用件数」は、令和5年度に引き続き、旅行会社等と連携を取ることで、長期休暇中の合宿利用が増え目標を達成することができた。